

# こうた kota

議会だより

VOL.  
**106**  
2002 11月1日



**がんばれ！  
もうすぐゴールだ！**

(幸田保育園 運動会)

2 **どう使われた187億円** 平成13年度 決算審議

4 9月定例会の主な内容「老人医療の対象年齢引き上げ」

6 **一般質問**「給食センター建設を早期に」など7人が町政をたず

13 **わが町を思う I LOVE TOWN**

14 委員会レポート

# どう使われた

# 私たちの税金

## 一般会計決算額 ( )内は前年度

**歳入** 118億8,192万円 (123億592万円)

**歳出** 112億7,586万円 (117億1,688万円)

一般会計の決算内容は、前年度と比較して、歳入で、4億2,400万円(3.4%)減少し、歳出においても4億4,102万円(3.8%)減少しました。

歳入では、個人町民税所得割分は依然として厳しい雇用環境ですが微増(1.4%)となり、法人税割分においては、自動車関連企業の業績が伸び、大幅な増(14.3%)となりました。

町税全体では、4.2%増加ですが、前年度と比較して諸収入について中部電力送電線計画事業等分担金が減少したこと、および繰入金も大幅に減少したことにより、歳入総額が減少しました。

歳出では、人件費2.2%、物件費9.4%、扶助費8.2%の増加となり、公債費

(借入金償還)は繰上げ償還したことにより6.9%の減少となりました。

13年度の基金への積立は財政調整基金へ1億6,773万円、都市施設整備基金へ1億1,777万円、教育施設整備基金へ1億1,500万円です。

5つの基金の13年度末の総額は28億1,433万円です。

土地取得特別会計では、歳入で公共用地の売り払いもなか69.3%の大幅な減少であり、歳出においても土地取得費で99.8%の激減となりました。これらは前年度には幸田中央公園用地取得があったためです。

13年度末の一般会計・特別会計の借入金の総額は、214億6,968万円、前年度より9億6,744万円減少しました。

## 決算の概要

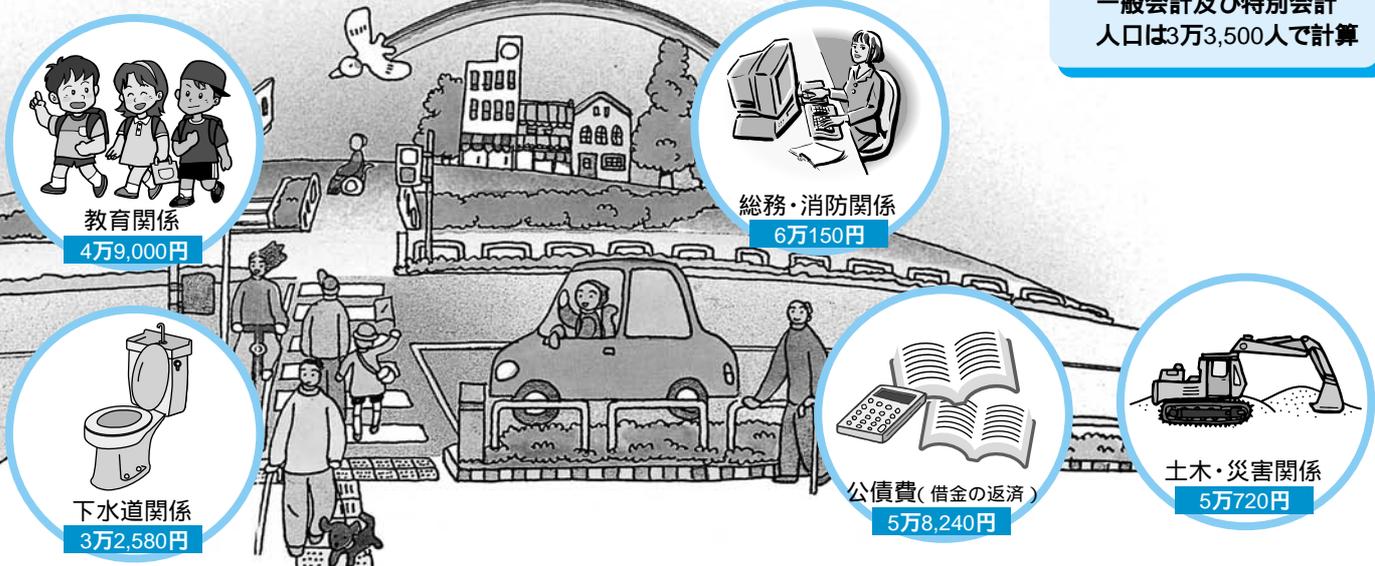
9月定例会は、3日に招集され、27日まで25日間の会期で開かれました。今定例会は、13年度の決算を審議するため、決算特別委員会を設置し、一般会計のほか8つの特別会計等を審議し、いずれも原案通り認定しました。

また助役、収入役の選任はじめ14議案、補正予算7議案及び議員提出議案5件等が上程され、すべて可決しました。

一般質問では、7人が町政の問題点を指摘しました。

## 町民一人あたり

このように使われました  
一般会計及び特別会計  
人口は3万3,500人で計算



# 平成13年度決算

# 総額187億円

(一般会計及び特別会計)

## 主な質疑

### 税は町民に 還元を

**Q** 財政力指数は県下で上位(12位)である。税金は町民のくらしに反映を。  
**A** 町民のくらしの向上には、長期的な施策が必要であり、そのために財政調整基金を積み立てて、総合的な面に配慮し町民のくらしのために使います。

### 行政改革の 取組は

**Q** 一般財源確保には行革をさらに推進すべきである。今後の施策は。  
**A** 第7次行革には、保育園の民営化、公園施設、給食センター等民間委託が可能なものについて検討し改革を推進します。

### 農用地管理に 新施策を

**Q** 遊休農地の草生いも多い。生産性を維持しながら農地を適正管理する対策は。  
**A** 農地保全に一層の努力をします。地域からの提案を受け、行政が支援し事業を行うなど、公共事業のあり方について新しい方策を検討し推進します。

## 平成13年度 特別会計等 決算状況

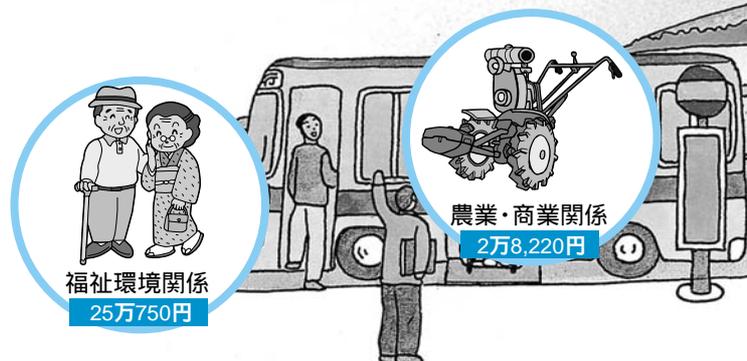
単位：万円

区 分		歳 入	歳 出	差 引
特 別 会 計	土 地 取 得	5億1,688	5億203	1,485
	国民健康保険	20億8,155	19億5,644	1億2,511
	老人保健	19億726	19億726	0
	介護保険	7億6,993	7億6,663	330
	通所介護サービス	1,038	1,038	0
	農業集落排水事業	4億2,955	4億1,733	1,222
	下水道事業	11億1,058	10億9,307	1,751
水道 事業 会計 (税抜き)	収益的事業	6億6,721	6億3,148	3,573
	資本的事業	1億3,955	1億7,940	3,985

## 基金の状況(一般会計)

単位：万円

区 分	13年度末
教育基金	1億8,579
財調基金	11億2,114
都市整備基金	13億2,153
医療基金	2,003
地域福祉基金	1億6,584
計	28億1,433





幸田町老人クラブ連合会スポーツ大会（幸田中央公園にて）

# 9月 定例会のあらまし

## 老人医療の対象年齢

## 引き上げ

老人保健法の改正に伴ない、老人医療費の助成に関する条例が、一部改正されました。

おもな内容は、老人医療の対象年齢を、現行の68才を、73才に引き上げるものです。

注、平成14年10月1日以後に68才になった人は、73才になるまで老人医療の対象にはなりません。

**Q** 対象年齢の引き上げによる国保財政への影響額は、

**A** 70才から74才までの1人当たりの平均医療費は54万円であり、毎年約200人の被保険者が増加するため、年間保険給付費は9、720万円の増加が見込まれる。対象年齢引き上げにより、老人

医療費拠出金が減少し、国庫負担金を差し引くと、国保財政の影響額は、約3、700万円の増加になります。

**Q** 一定所得額の設定額は、  
**A** 老人保健対象者のうち、課税所得額124万円未満は1割負担で、それ以上は2割負担となります。（賛成19、反対2で可決）

### 桜坂区に コミュニティ ホームできる

新しい行政区（桜坂区）に、トヨタ自動車（株）の寄附により、コミュニティホームが12月1日にオープンします。

**Q** 施設のグレード、建設費はどの程度か。

**A** 去年建設した、里中央コミュニティホームと同等で、延床面積は202・8㎡です。本体建設費は、3、380万円、外構費は約1、000万円です。

**Q** 備品の整備負担はどうするのか。  
**A** 備品は行政区で整えることとしている。エアコン、カーテン等は、コミュニティホーム建設時に一緒に整備することになっている。（全員賛成で可決）

### 人事案件

教育委員、黒柳孝夫氏、固定資産評価委員、市川正氏の任期満了に伴い、次の方が選任されました。

・教育委員  
中川 晋<sup>すすむ</sup>氏（横落）  
（任期4年）

・固定資産評価委員  
岩瀬喜久雄氏（上六栗）  
（任期3年）  
・人権擁護委員 再任  
塩山 泰道氏（坂崎）  
左右田富美江氏（野場）  
（任期3年）  
（全員賛成で可決）

### 菱池保育園 4億1、790万円で落札

平成14年、15年の2か年で移転改築される菱池保育園の、工事請負会社が決まりました。

一、工事会社 和幸建設（株）  
一、金額 4億1、790万円  
（消費税含む）  
（全員賛成で可決）

### その他の議案

- ・県営ほ場整備事業深溝地区の「字」の区域の設定及び変更」
- ・幸田町総合計画審議会条例の一部改正
- ・幸田町土地利用計画審議会条例の一部改正
- ・幸田町環境審議会条例の一部改正
- ・幸田町教育施設整備事業審議会条例の一部改正
- ・幸田町農業振興地域整備促進審議会条例の一部改正
- ・幸田町火災予防条例の一部改正

### 議員提出議案

- ・幸田町議会議員の定数を定める条例の制定
- ・幸田町議会会議規則の一部改正
- 他 意見書3件（P17に掲載）

（全員賛成で可決）

# 近藤町政

## 2期目スタート

共進



近藤徳光 町長

引き続き行財政改革に積極的取り組みながら、夢と活力のあるまちづくりをめざし、町民の皆さんと共に力を合わせ、進んでまいりる所存であります。

## 新助役・収入役決まる



収入役に坂本邦夫氏  
「清新と改革」

新しい視点からの公金の管理と運用、改革を念頭に置いた会計処理の適正な執行を目指します。



助役に金澤満氏  
「渾身」

近藤町政の行政施策を正しく理解し、広く町民の皆さんに信頼をされ、協力が得られるように渾身の努力をいたします。

### おもな追加予算

駐車場等の用地購入に 5,000万円  
職員駐車場(現在借地)を買う費用です。  
公共用地先行取得 6,530万円  
県道岡崎幸田線代替地と幸田駅前開発代替地の購入費用です。

林道整備に 884万円  
林道須美南山1号線開設工事の費用です。



林道須美南山1号線開設工事

老人保健システム改修に 1,050万円  
保健法改正によりシステムを改修する費用です。  
老人保健医療費拠出金 9,823万円  
老人保健医療費にあてる費用です。

こんな  
質疑が  
されました

Q 林道須美南山線事業の884万円補正が必要か。  
A 生産育林として県の補助事業により応分の負担をし、早期完成をめざします。西尾市地内に

Q 調整区域内生活道路整備の執行状況は。  
A 当初予算分(2,500万円)については96%発注し施工中です。今回の補正については、各地域からの要望のうち早く対処を必要とする場所の費用です。

一般会計  
2億3,366万円  
増額  
駐車場用地購入など

補正予算として市街化調整区域内道路整備など7議案が上程され、いずれも原案どおり全員賛成で可決しました。

### 9月補正予算

- 一般会計
  - 2億3,366万円
- 土地取得特別会計
  - 6,530万円
- 国民健康保険特別会計
  - 1億1,280万円
- 老人保健特別会計
  - 1,050万円
- 介護保険特別会計
  - 614万円
- 集落排水事業特別会計
  - 236万円
- 下水道事業特別会計
  - 0円(科目の組み替え)

# 町づくり・町の考えは？

## ここが聞きたいQ&A

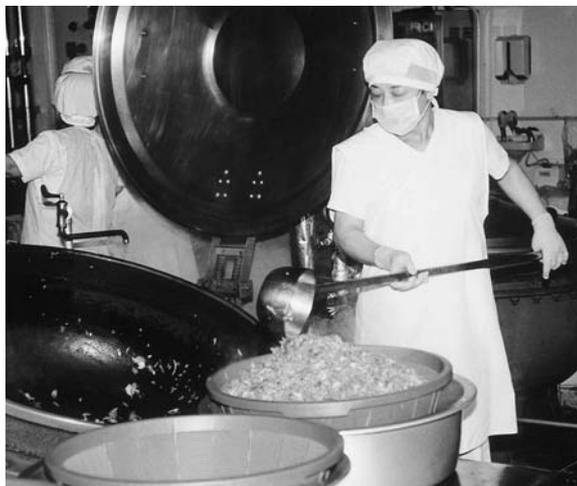
### 給食センター建設を早期に

町長

見とおしは平成17年度以降に



黒柳広治 議員



学校給食センター

〔質問〕

現在の給食センターは、昭和52年4月に開設され、建設から25年が経過しており、施設、設備の老朽化が激しく、綱渡り状況が余儀なくされている。給食センターの建設を求めるものがある。

- (1) 現在の給食センターで事故等発生した場合、どのような対応策を考えているか問う。
- (2) 安全で安定した給食を供給するには、ドライシステム化することが必要だ。

(3) 新給食センター建設の時期を問う。

- (1) 町長〔答弁〕  
昭和52年に建設し老朽化も進んでいる。事故の内容によっては、給食を一時中止し弁当持参を願わざるを得ない。
- (2) 文部科学省もドライ方式を補助金の対象として

いる。0157の問題等からもドライ方式を取り入れる。

(3) ドライ方式で建設すると現在の場所では難しい。用地買収費を別にしても10億円ぐらい必要であり、平成17年度以降になる。

〔質問〕

公務災害  
あつかいの  
考えは

自主防災会、河川愛護運動「作業」などに町民が参加し、活動中にけが等した場合、町はどのような対応してきたか。また今後どのような対応策を考えているか問う。

- (1) 自主防災会の会員が、災害出動した場合、不幸にも災害にあった場合の補償内容はいかに。
- (2) 河川愛護運動「作業」に従事し、けが等発生した場合の補償内容も問う。
- (3) 自主防災会条例の制定を求めるがどうか問う。

(1) 町長〔答弁〕  
消防団員等公務災害補償条例によって、防災活動に従事したものに補償する制度がある。  
訓練では、防災訓練災害補償等共済制度があり最高700万円になる。

(2) 1団体50名を単位に傷害保険に加入し、年間の費用は10万円程。死亡あるいは高度障害は100万円、入院は日額1、500円、通院は日額1、000円という内容である。

(3) 自治組織であり、条例をつくって町が関わる考えはない。

制度を  
活用し補償  
していく

# 避難所の耐震化・地元負担ゼロで

## 町長 要綱の改正で努力していく



成瀬克己 議員

〔質問〕

東海地震等大型地震対策について問う。

- (1) 学校、公民館等町指定の避難場所のうち、該当する建物38カ所の耐震診断と補強工事のスケジュールは。
- (2) 診断結果は公表し、補強工事の優先順位付けは町民が納得できる方法とすべき。その考えは。
- (3) 指定避難場所のうち、コミュニティホーム等地元管理の建物の補強工事は、地元負担「ゼロ」にすべき。その考えは。
- (4) 民間木造住宅の耐震補強工事において、町助成制度創設の考えは。



大草老人憩の家

- 町長〔答弁〕
- (1) 避難所58施設の中で昭和56年以前の建物は38施設があるが、学校をのぞき31施設の耐震化は内容が異なるため調査し取り組んでいく。
  - (2) 耐震結果は公表し、改修の取り組みも示す。
  - (3) 要綱どおりとはいかないと思う。改正について検討していく。
  - (4) 自己診断の結果、耐震調査に助成していく。改修工事についてはもう少し様子を見て対応していきたい。

地震防災への備えは  
大丈夫か

〔質問〕

- (1) 災害発生時の中高生の戦力は重要。自主防災会や保護者と一体となり、自分たちの役割りは何か等話し合い、その訓練を行なう親子防災教室の設置と、町総合防災訓練への参加を提案するその考えは。
- (2) 自主防災会は一年交替のあて職的地区もあり、地区ごとのレベルの差が

自主防災  
組織の強化  
をすすめる

大きい。自ら自主防災会の育成・強化を図るべく、地区毎に自主防災会をサポートする経験者による自主防災委員の設置と、その委員連絡会の組織化を提案する。その考えは。

- (2) 自主防災会を強化するために、消防OBが参加することは、技術やノウハウが生かせる。検討していきたい。  
防災会の育成は要望に応じていく。

- 町長〔答弁〕
- (1) 中高生がボランティアにかかわる意義は大きい。



町総合防災訓練（消火訓練）

# 小中学校に少人数教育を

町長

## 少人数授業を検討する



大須賀好夫 議員



英語の少人数授業（南部中学校）

〔質問〕

教育は「国家百年の計」とも言われ、幸田町の未来のためにも教育の荒廃を是正し、楽しく学校生活を送れる様にしなければなりません。

行政が学校に人的・財政的な支援を行い、少人数教育を導入し、学力不振、不登校に悩む生徒や親を援助する考えは。

〔質問〕

補助教員を増すなど財政負担の問題もあるが、町独自でできることから少人数授業を実施する考えを問う。

町長〔答弁〕

4月から学校週5日制が始まり、ゆとり教育をはじめとして、子供たちに基礎・基本を身に付けさせ、自ら学び考える力を教えていくことをねらいとして取り組まれている。

教育効果の上がる少人数授業を推進するため、今年度より、県から5校6名の教員の加配をいただいているが、残り4校についても県に強く要請していく。

今後は、教育委員会の意向を確かめながら、町としても少人数授業について検討する。

〔質問〕

毎年の猛暑と日照り続きで野場地域は山は浅く荒廃し、山の出水が少なく渇水状態続きで苦慮している。

国営新矢作水利事業、南部幹線が平成14年度計画変更され、琴沢池から力ヶ入池の配水導入計画が採択された、計画の大きさ、内容完成時期を問う。

県営は場整備で野場地区は排水が新田地区に流出しているが、流末からのポンプアップすることにより、水の再利用は可能と思われるが、その対策は。

渇水期に備えるための対策は



不動ヶ池（後方は遠望峰山）

### 矢作用水のため池接続で

に、既存の4つのため池（久保田平岩池、荻不動ヶ池、稲基池、野場力ヶ入池）への接続を国・県に要望した。

平成14年度に国営新矢作用水地区の計画変更が認められる予定。平成14年度に計画確定、15年度設計、16年度工事着手、21年度工事完了見込み。用水対策として配水管理、用水の循環方式等で渇水期に備えたい。

町長〔答弁〕

現在、農業用水は、矢作用水を町内8つのため池に接続し配水しているが、渇水対策も考慮して今後新た

# 経常経費の節減策は

## 町長 職員にコスト意識を督励



内田 等 議員

**〔質問〕**  
 経常収支比率は義務的経費に町税の一般財源がどの程度充当されているかを見る指標として使われている。経常経費に充当した一般財源の残りが多いほど臨時の財政需要「投資的経費」に余裕ができ、町民要望にこたえることが可能であると考えられる。



職員研修

現のためには、膨大な経費が必要である。投資経費を生み出すための経常経費節減を問う。

**町長〔答弁〕**  
 大型事業が山積している厳しい現状の中で職員の意識改革と行財政改革を積極的に進める必要がある。

職員は、町民の意見や要望を真摯に受けとめ、セクト意識を排除し町組織全体でフォローするなど、常にコスト意識を持って職務に取り組んでいくことを督励する。

また、事業ごとに行政評価を真剣に行い、税収の確保、経常経費の抑制、経常収支比率を改善して、財政の健全化を図る。

### 各施設の維持管理費の軽減策は

**〔質問〕**

下水道計画については現在全町下水道化を目標に農業集落排水事業と、公共下水道事業に分けて鋭意工事を進められており、下水道の目的である公共水域の水質保全の確保について積極的に取り組まれている。農業排水事業は、本町の最終計画地区13地区中12地区

が供用を開始している。平成16年度には、本町計画の最終地区である上六栗地区が供用開始される予定である。各処理場の維持、管理の経費節減策を問う。

### 統括管理で経費削減

**町長〔答弁〕**

下水道事業は、町民の文化的生活に欠かせない事業として、積極的に取り組んできた。

農業集落排水事業は、町内13地区すべてが、平成16年度から供用開始となる。これを契機に、排水処理施設保守点検委託業務など日常管理を含めて全体の見直しを行い、13地区の処理場を数地区にまとめて統括管理をするなど一層の経費削減に努める。

農業集落排水事業と公共下水道事業の接続については慎重に検討する。



高力集落排水処理場

# ITを活用して町民の声を集約

町長

## 8月に機能をパワーアップ



清水幹夫 議員

〔質問〕

インターネットの普及速度はすばらしい。町のホームページを活用した町政の運営方針を問う。  
(1) より多くの皆さんに町



ホームページの充実をめざす。

(1) 町長〔答弁〕  
ことしの8月に従来あ

(2) ホームページに充実した掲示板を設け、皆さんの意見を集約し、更に発展させ、電子会議の開催も視野に入れていくべきと考える。今後の取り組みについて問う。

る機能をパワーアップして、インターネットサーバの入れかえを行い、内容もわかりやすくした。今後は週に1回程度更新し、さらに見やすくするよつにする。  
(2) 統計的な紹介だけでなく、行政の計画、構想、申請の手続等さらに利用しやすい取組みをしていく。また、情報がそれぞれの課から発信でき、意見が聞ける体制にもつていく。

〔質問〕

東海地震はいつ発生するか解からない状態  
(1) 緊急事態で頼りになるのは、地域の住民同士の助け合い。防災訓練も、コミュニティの組織単位で開催し、その内容を肌で感じることが重要。今後、行政区ごとの防災訓練を行なうべき。取り組みについて問う。

地震災害  
対策と  
コミュニティ

(2) 大災害が発生し、生活インフラが機能しなくなった場合、防災無線を町の中央で制御出来なくなる可能性がある。各行政区で操作出来るようにすべきと考える。今後の取り組みを問う。



町総合防災訓練（避難訓練）

自主  
防災会で  
取り組みを

(1) 町長〔答弁〕  
自主防災会単位で訓練できる方法をすすめるが、消防署を中心に職員を派遣し指導、助言をしていく。

全町の防災対策を示し、町民個人が平素の備えと身の回りにどう対処するか、地域でどうかかわっていくかを留意して防災の取組みをしていく。  
(2) 屋外の受信機は、放送が発信できる機能も持つており、災害時には自動車無線機により情報の伝達をしていく。

# 保育園にもクーラーを設置して

## 町長 年次計画で順次整備



丸山千代子 議員



幸田保育園給食調理室

〔質問〕

町内9保育園のうち築20年以上経過した園は5園。老朽化がすすみ、外壁塗装、床材の修理、トイレの洋式化など施設改善の必要がある。防犯対策、改善計画をたて整備をすすめるべきである。

異常な暑さが続く夏場、体温調節がうまくいかない園児が増え続ける傾向にある。給食調理室は、室温35度以上になり、食品衛生面や健康管理からも空調設備の要望がでていく。

保育園にもクーラーを設

置すべきである。

町長〔答弁〕

昨年度は通報件数が2件あり、1件は盗難、1件は不明である。

今後は一括して管理する保障会社へ委託する方向で15年度に予算化を検討していく。

クーラーの設置については、深溝保育園と改築が予定されている菱池保育園を除く7園については給食調理室も含めて年次計画を定め、順次整備をしていく。

〔質問〕

連日、倒産、リストラ、失業率最悪など不況の打撃が、高校生、大学生に深刻な影響を与えており、全国的に、親の経済的理由で高校生の中途退学者が増大している。

高浜市では、リストラ家庭の高校生に奨学金を支給する制度がある。

### 奨学金制度の創設で学生支援を

岡崎市は、支給奨学金、奨学資金貸付制度、入学準備金など、各自治体独自の奨学金制度をつくり在任の学生の支援をしている。親の経済的状况で進学の道がたたれることのないよう奨学制度の創設について問う。

### 独自制度の創設は検討

貧しい家庭においても、勉学の道を保障する、大変重要な意義ある、奨学金制度の存続を強く要請していく。近隣の情報を十分把握しながら、幸田町としてはどの程度負担が可能か、助成が可能か、よく詰めて検討していく。

町長〔答弁〕

日本育英会の動きを見ながら優秀な人材を養成する。



登校する幸田高校の生徒

# ランプウエーの整備は国費で

町長

## 総体的利用度も高く一部町費



伊藤宗次 議員

〔質問〕

248号線と23号線芦谷インターを結ぶ町道芦谷荻一号線の性格は、ランプウエー。

23号線にいくつかのランプウエーがあるが、市町道の所は、一か所もない。時の町長が「デンソーへ

のリップサービスだ」として、デンソー幸田正門まで

ランプウエーを延長し、国費で整備するランプウエーを町道で整備すると押し切つて今日に至っている。

町道芦谷荻一号線の町道認定は誤りだ。町道認定を廃止し、本来の姿にもどし、国費でランプウエーを整備させるべきだ。

町長〔答弁〕

248号線から23号線芦谷I・Cへのランプウエーと併せてランプウエーから南進してデンソー幸田正門付近の現道に接続する計画道路でもあるため、町道芦谷荻一号線はランプウエーの性格だけでなく、248号線の負担緩和、沿道の開発、発展にもつながる重要な役割を持つため、町道認定の廃止は考えていない。用地については町で取得

をし、その取扱いについて国や県の補助をいただき、道路の整備は国で実施するよう調整している。

### 違反転用なしに町長はどう対処

〔質問〕

農業委員会の12・13年度活動で、農地の違反転用等の実態調査で、長嶺、久保田、高力、大草、横落、逆川等、22地区中7地区が、違反転用も遊休農地もなしだが、正確な調査と言えぬ。町長は、この調査結果を「見て見ぬふり」しているが、町長には、地方自治法で「総合調整権」がある。実態反映せぬ調査にどう



稲刈りの終わった水田（荻地内）

対処し、指揮監督権を發揮し、改めさせるのか。「犯人捜しはしたくない」と答弁する町長は、事の重大性理解せずだ。首長の資質が問われる。

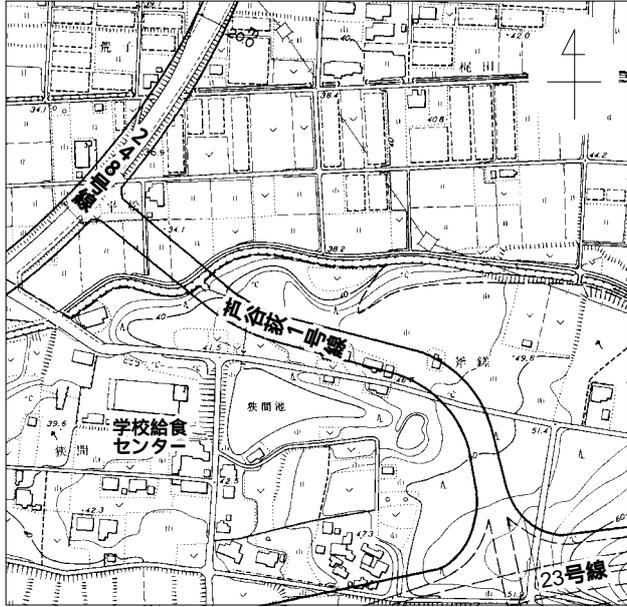
### 航空写真と現地調査で適正対応

町長〔答弁〕

昨年度撮影した航空写真の結果では、町内で約3、500筆の農地の現況が不明であり、この写真をもとに、昨年度から現地調査を行い、約2、000筆調査

のうち575筆が現況では転用されていることを確認した。残り1、500筆についても調査を行い適正処理に努める。

また町長の総合調整権については、農業委員会をはじめ関係する部課間の調整を密にし、それぞれが機能を果たせるよう努力していく。



芦谷荻1号線計画図

## I LOVE TOWN

## わが町を思う

友人が増えた分  
愛着が深まって

【横落区】

関 久美子さん

友人が増えた分愛着が深まって仕事に向かう時、目の前に山が見え、道路の囲りには田が広がり…なんてのどかなんだろうと感じます。それでも、プールや町民会館や商店は整っているのに、人が住みやすい町なんじゃないかなあとも思っています。(総合病院があれば、もっといいけど…)環境はとても良い。でも、それより何より、子供がで

き、地域の人と触れ合う機会が増え、友人が多くなっていたことが、一番の喜びかな。今まで、地域の人と一緒に飲むことなんてなかったけど、最近は時々、そこで色々な話を聞いていると、とても新鮮で楽しい。こうやって私は、この町とこの町の人とどんな好きになっていくような気がします。



子ども会活動も地域の方と触れ合う機会です。(エンゼル子ども会)

## 第二の人生

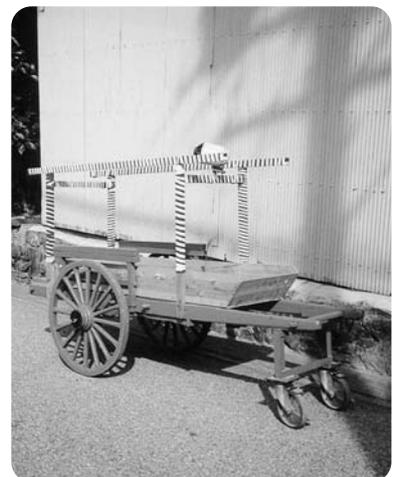


【里区】

近藤 久勝さん

私の住む地区では、大八車が現在も活躍している。第一の人生は、今は昔、人が山へ入り、成長した木材を運び出す運送用のくるまとして、もちろん、当時は、一個人の所有物であった。

第二の人生は、山車<sup>だし</sup>とし



山車として生まれかわった大八車

てである。一個人の方が組へ寄贈され、年行事役の方の工夫と、建具職人の技で、山車として生れ変わり、現在、山車専用倉庫で、活躍する日を心待ちにして、待機している。

活躍の機会、その一は、氏神祭礼のとき組の方々に、飾りつけをしていただいで、組の山車としてである。

その二は、彦左まつりのとき、深溝学区役員さんに、化粧をしていただく、深溝学区の山車としてである。

この山車を見て、昔を思い出出す方々、山車の出番である祭礼、彦左まつり、思い出の一ページとしておられる方々も少なくないでしょう。

## 総務

### 民間開発で

### 町活性化

8月25日協議会を開催しました。

総務課から、第6次幸田町行政改革の推進、使用料、手数料及び事務事業の見直

しについて協議。限られた財源で多様化したニーズに公平、適確かつ迅速な対応することが難しくなってきた。見直し作業を速やかに

行い、平成15年度の当初予算に反映できるように努力したいと説明がありました。企画情報課から、桜坂コミュニティホーム建設計画、六栗地区工場用地開発計画について協議しました。六栗地区への進出企業は中村精機(株)で、事業内容は輸送用機械器具製造です。幸田町の発展、活性化にも大きく貢献できると期待が寄せられています。その他幸田町消防防力等整備計画、バランスシートと行政コストについても協議しました。



建設中の桜坂コミュニティホーム

## 親しまれる「議会だより」めざして

## 議会 広報



兵庫県夢前町議会と合同で研修  
(宮城県矢本町議会にて)

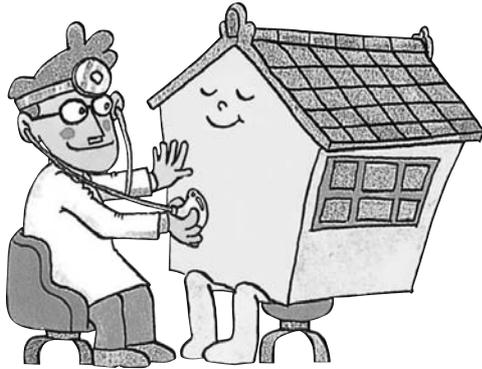
7月4日・5日に宮城県矢本町議会を視察研修しました。当委員会は、議会活動をわかりやすく正確に町民に知らせることが使命です。編集テクニクの向上をめざして研鑽を積んでいますが、先進地での視察研修も重要な勉強の場となっています。矢本町議会は、全国コンクール上位入賞をしている町で、十分なる成果がありました。

定例会終了後30日で発行。編集委員は7人、会議は5回行い、一般質問の原稿は、問い答えともに質問者が書いている。(本町では、答弁は委員が書いている) 又議会モニター制度があり、町内から5人に依頼し(任期2年公募)、広報に対する意見を聞かせてもらっているとのことでした。紙面全体が読みやすく、写真の位置、余白部の取り方、工夫された見出し等、我々の目ざしている事と一致していました。これからも、読みやすく親しまれる広報紙めざして、一層研鑽努力していきます。

# 業建設 産建

## 木造住宅耐震 診断費に補助金を

- 8月22日協議会を開催  
建設部から7項目、上下水道部から3項目の説明を受け協議しました。
- 主な協議事項
- (1) 地震防災対策強化地域に指定されたことに伴い被害予想の大きい木造住宅の耐震診断の費用の補助事業を実施します。
- イ 補助対象 木造住宅  
ロ 事業主体 幸田町  
ハ 事業期間 14、17年度
- 二 補助内容 精密診断に要する費用(3万円)全額補助  
ホ 実施棟数 年100棟  
相談窓口は、建設部都市計画課です。  
委員から実施棟数が少ないのではとの意見が出ました。
- (2) 幸田中央公園の利用方針の説明を受けました。  
イ 利用開始日 平成14年10月1日(火)
- ロ 開園時間 午前8時30分～午後5時  
(3) 平成13年度米生産調整実施状況の報告を受けました。
- 生産調整対象面積 307.5 ha  
生産調整実施面積 326.6 ha  
目標達成率 106.2%



耐震診断費の補助をします。

## 生ごみ堆肥化施設と道の駅を視察研修

7月1日から3日まで、委員会の行政視察を行いました。岩手県盛岡、柴波地区、「生ごみ堆肥化施設」について

平成5年3月リサイクルコンポストセンターが完成。各家庭から出される「生ごみ」は各集積所に配置されたバケツコンテナごと専用トラックで収集され直接発酵槽へ投入され、樹皮(バーク)と混ぜ合わせ、30日から40日攪拌し、充分に、発酵、熟成した堆肥化物は、不純物を取り除き袋詰め(20kg)され、良質な堆肥として農協、農家、一般家庭に直販され大変好評です。

宮城県三本木町「道の駅三本木」について

町の庁舎、保健センター等の行政施設と、国道4号線を歩道橋でまたぐ位置に平成12年に完成し、13年に(株)三本木町振興公社として運営を開始する。

地域の産物の販売、観光案内、道路情報など地域に密着した施設です。

食堂は椅子席28、座席24、車椅子席2の最大54席のスペースを確保し食券機を設置したセルフサービス方式としています。

出品者はそれぞれ工夫し顔が見える、責任ある販売をし、消費者に好評です。



発酵中の堆肥の前で説明を受ける。

# 文教福祉

## 保育園の視察と

### 協議会の開催



深溝保育園を視察

町内全保育園の視察を8月7日に行いました。今年はとりわけ猛暑であったため、室温のコントロールには苦労されていました。特に給食調理室の室温対策を複数の園が要望。幼児の環境への適応性も大き

な話題になり、今後の課題が提起されました。今後多面的に取り組みをしていくべき課題であると考えます。8月21日協議会を開催しました。

今話題の住民基本台帳ネットワークシステムについては、そのセキュリティの問題を中心に協議しました。その他医療保険制度（国保分）（老健分）の制度改正について、坂崎地区に建設予定の特別養護老人ホームの建設進捗状況について、新しく計画がされている痴呆性高齢者グループホームの建設計画などを協議しました。

教育委員会関係では学校教育の現状が報告され、保健環境課からはごみ収集の現状報告がありました。

## 現場重視の3施設を視察研修



会津本郷町の複合福祉施設にて

委員会は、7月8日から3日間、福島県の3施設を行政視察しました。会津本郷町複合福祉施設 同一敷地内に幼稚園、保育園、老人福祉施設が併設されています。幼稚園と保育園は一体で運営されています。また老人は常に子供と一緒に生活するのが自然との考えから、デイサービスセンターが併設されています。

本宮町特別養護老人ホーム 福島県北部の7市町村の立ち上げによる社会福祉法人の3施設のひとつ。定員80人。待機者120人。入所の順番は入所調整会議で決められます。三春町岩江中学校 学校運営の基本は生徒の自立。教師は生徒の自己実現に寄与。生徒が日々楽しいと実感できる学校の実現が目標。それは個性を育てる教育の実現であり、基本の重視、個に応じた学習の工夫、個性化の推進であると説明されました。この具現化がオープンスペース教室、教科型教室の建設に発展しました。これが三春町の教育改革の基本であるとの説明でした。

# 3件の意見書

## 採択し国に提出

### 請願・陳情

#### 請願 1

学級規模の縮小・多様な学習が可能となる教職員の配置と義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書

#### 陳情 1

義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度維持に関する意見書の提出についての陳情

#### 陳情 2

国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

以上3件を採択しました。

学級規模の縮小・多様な学習が可能となる教職員の配置と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

21世紀を担う子どもたちを健やかに育てることは、すべての国民の願いである。いじめ、不登校や非行などの課題を克服し、一人ひとりに対応したきめ細やかな教育を保障するためには、学級規模の縮小をはじめ十分な教職員定数を確保する必要がある。

また、学校事務職員および栄養職員の人件費を国庫負担制度の対象外とする動きが見られるが、教育の機会均等と教育水準の向上をはかる上で危惧される。よって、学級規模の縮小、少人数学習の実施などが可能となる教職員の配置と、学校事務職員および栄養職員の人件費の国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

私立学校は国公立学校とともに国民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っており、国においても、私立学校振興助成法により、各種助成措置を講じている。

しかし、財政制度等審議会は来年度予算について私学助成を見直しの必要ありと答申した。長引く不況で、私学に通わせる父母の経済的負担はもはや耐えがたく、授業料の滞納や退学が急増している。今こそ「米百俵」の精神で、国庫補助制度堅持し、私立高等学校以下の経常費補助と、父母負担の公私間格差是正のための授業料助成の拡充を図られるよう強く要望する。

道路整備予算の確保に関する意見書

本町は東西三河の交通の要衝に位置し、地域発展と通過交通の円滑処理のため基幹軸である国道23号岡崎バイパス、国道248号等の主要国、県道の整備、幹線街道を始めとする生活関連道路網の整備が急務となっております。

では、高速道路整備の見直しや道路特定財源の一般財源化の議論がされているところですが、さらなる道路整備の促進が急務であり、今後一層の財源確保が必要となっておりますので、次の事項について格段の配慮を要望します。

#### 記

地方の道路整備を促進するため、財源確保を図ること。



国道23号線の橋脚工事（JR幸田駅南）

# 新議員紹介

## 町民が参加

## できる町政を



夏目一成（58歳）

芦谷（新）

このたび町議会議員補欠選挙において、皆様のあたたかいご支援によりまして、無投票ではございましたが当選させていただきました。心より厚くお礼申し上げます。来年の四月までと、大変

短い期間ではありますが諸先輩方のご指導をいただきながら、微力ではございますが精いっぱい務めさせていただきます。どうぞよろしくお願います。幸田町は自然がいっぱいの住みよい町です。さらにより良い幸田町にするために、残された課題を一つずつ町民の皆様のお力をおかりして取り組んでまいりたいと思っております。ご支援とご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## 兵庫県 山東町議会 広報編集委員 が来町

7月1日、兵庫県山東町議会広報編集委員が来町されました。

山東町は兵庫県の東北の山間地、京都府に接する人口約6、500人の静かな町とのことです。11年に全国コンクールで奨励賞を受賞されていて、同年に当町から研修に出かけているという、縁のある町であります。

議会だよりの紙面を一旦見して、私共の議会だよりと相通ずる点が多くあり、なごやかに意見交換することが出来ました。写真や文章のレイアウト、見出し文段数や余白のとり方など、手法は同じであります。編集方法とか、原稿を書く人等での違いを中心に活発な議論が出て、意義ある研修となりました。



## 議会広報 研修会に参加

7月25日、名古屋市中区で広報評論家の保坂政和氏の講演と広報クリニックスが行われ、広報編集委員が参加しました。

見出し・記事・写真・余白の配分、写真の構図、レイアウト、企画などについて学びました。

多くの議会だよりを見てこれら審査されている講師の話は、とても参考になりました。

議会の活動を、町民の皆さんにいかにかわりやすくお知らせするか、研修で学んだ技術・編集の姿勢を今後の議会だよりに生かしたいと考えます。

## 編集後記

さわやかな風に誘われて秋も深まりを増してきました。

北海道の屋根、大雪山では中腹まで紅葉前線が進み秋真っ盛りとの便りがあります。本町でもあぜ道や堤防をあちこちと彼岸花が赤く染めて、稲穂の波と共演して秋を告げています。

稲の取り入れでコンバインの音が、こちよよい響きをさせて豊作の喜びに聞こえてきます。

町議会9月定例会も27日に閉会しました。今後とも「こつた議会だよりの」を通じて、「知らせる義務」にもとづき、町民の皆様のためにわかりやすく親しみのある広報づくりに頑張りたいです。一層のご理解とご協力、そしてご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## あなたも議会を傍聴してみませんか

12月議会の本会議は、下記のとおり行う予定です。

### 会期の日程

- 2日（月） 開会、議案の説明
- 5日（木） 一般質問
- 6日（金） 一般質問
- 9日（月） 議案の質疑
- 10日（火） 議案の質疑
- 19日（木） 閉会、討論・採決

場所 役場5階 議場  
時間 午前9時から

詳しくは議会事務局へ  
☎63-5151